

介護保険 「居宅療養管理 指導」について

今回は居宅療養管理指導サービスを紹介させていただきます。一般の高齢者は複数の疾病を有する事が多く、介護保険を利用して在宅で過ごされる高齢者はさらに重度の身体障害で、通院ができない場合もあります。したがって、高齢者ケアにおける居宅療養管理指導サービスとは、疾病が急性期を過ぎ慢性化したり、再発の予防や寝たきりによる合併症等に対し重要な役割を持っていきます。

当院では、利用者の方々
に安全で快適な在宅生活を
送って頂くために、医師が



デイケア教室に参加して

当院では、毎月1回デイケア教室を行っています。デイケアでは、リハビリの為に体操や、季節によって行事を計画し、参加された方と楽しい時間を過ごしています。(18年1月で第91回を数えました。)



1月は新年会という事で輪投げ、福笑い等のゲームを行いました。普段診察時に拝見する表情とは違い、皆様体の痛みも忘れて、一生懸命ゲームに参加され、時には大きな声で応援し、明るい顔で笑い、楽しい時間を過ごしていただいた様です。



毎月楽しみにして下さった方もいらっしゃいましたが、諸事情により3月で一時終了となります。

私達もデイケアで学んだ笑顔の大切さを忘れずに、これからも頑張りたいと思います。
(接遇委員会 岩本 紘子)

居宅を訪問し、その人の心身の状況、置かれている環境等を把握し、それらを踏まえて療養上の管理及び指導や助言を行っています。

▼対象となる方は

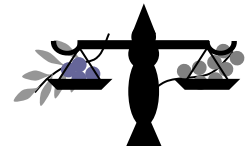
- ①病状が不安定で悪化、再発、合併症を起こしやすい人
- ②高血圧、糖尿病、心不全など治療を必要とする疾病を持っている人
- ③リウマチ、関節疾患などでリハビリテーションを必要とする人

要とする人

- ④気管カニューレや在宅酸素療法など生命維持に必要な器具をつけている人
- ⑤抵抗力、免疫力の落ちた人で急性上気道炎や尿路感染症などの疾病にかかりやすい人
- ⑥入院、入所の判断が必要な人などです。

サービスの利用を御希望の方は当院へ御相談ください。(介護支援専門員 川野 真芸)

漢方入門 ②



肥満症や高血圧、高脂血症、糖尿病の生活習慣病はそれぞれが独立した病気ではなく、肥満—特に内臓に脂肪が蓄積した肥満(内臓脂肪型肥満)—が原因であることがわかってきました。肥満とこれらの病態を併せ持つ状態を「メタボリックシンドローム」と呼び、ここ最近注目されています。

肥満、さらにメタボリックシンドロームと診断されたら、まず生活習慣の改善と内臓脂肪を減少する治療が必要です。

治療は食事と運動療法が基本ですが、肥満症の改善には防風通聖散(ポウフウツウショウサン)という漢方薬も用いられます。

防風通聖散には①余分な脂肪(特にお腹まわりの脂肪)を分解する。②エネルギーを消費する脂肪を活性化して、消費エネルギーを増やす。といった二つの働きがあります。ただし、食事や運動をないがしろにしていると防風通聖散も効果を発揮しにくいことがわかっております。

太り気味の方でも体重5%減らせば、生活習慣病にかかる率が低くなりますので、お悩みの方は是非ご相談ください。

曾山医院

胃腸科・外科・内科・肛門科

☎656-2131 兵庫県淡路市志筑1391-9 ☎0799-62-5566

編集委員会

岡崎博子 背野有加里
荷出真巳 赤松陽子
西岡博子 細畠成氏
(協力)ピーシー・クリック